

# 事務連絡

平成 19 年 10 月 10 日

各 位

南あわじ市商工会

## 地域活力増進事業

### 淡路いぶし瓦を用いた地域活性化事業にかかる

### オブジェのデザイン提案競技の実施について

時下、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、南あわじ市商工会では、本年度地域活力増進事業として兵庫県商工会連合会へ申請をして採択された『淡路いぶし瓦を用いた地域活性化事業』において、阿那賀の丸山地区に淡路いぶし瓦を用いたオブジェの設置を予定しており、そのデザインについての提案を一般に公募したいと考えています。

つきましては、審査委員の採決によるコンペを実施いたしますので、下記によるデザイン提案を賜りますようご連絡申し上げます。

#### 記

1. デザイン提案内容  
別紙「淡路いぶし瓦を用いた地域活性化事業・デザイン提案競技実施要領」  
並びに「事業概要」の通り
2. デザイン提案受付締切日時  
平成 19 年 10 月 31 日（水）午後 5 時まで
3. 提出物  
デザイン案 10 部(紙ベースによる同一のもの)
4. 決定日時  
平成 19 年 11 月中 決定者のみご連絡いたします。
5. 申し込み・お問い合わせ  
南あわじ商工会 濟藤、富岡  
〒656-0474 兵庫県南あわじ市市市 299-2  
TEL 0799 42 4721、FAX 0799 42 4689  
Email [info@m-awaji.jp](mailto:info@m-awaji.jp)

南あわじ市商工会

## 淡路いぶし瓦を用いた地域活性化事業・デザイン提案競技実施要領

事業名 地域活力増進事業「淡路いぶし瓦を用いた地域活性化事業」

デザイン提案競技

1. 内 容 テーマを『淡路いぶし瓦を用いた地域活性化事業』とし、恵まれた自然と多くの観光資源を古くから培われてきた地場産業である淡路いぶし瓦を用いたオブジェを阿那賀丸山地区に設置することにより瓦の素材を観光客等を介して広く紹介するとともに地域活性化とまちづくりにつなげる。

オブジェの用地 具体的な用地については選定中。

オブジェ寸法目安 横幅約 40m、奥行き約 0.5m、高さ約 2m

規 格 A 4 版 10 部 紙データ

提出方法 郵送、持参どちらでも可とする。

提出形態

デザインイメージのプリントアウトしたものまたはスケッチ

提出されたデザイン提案をもとに、デザインをアレンジすることがあります。

提出されたデザイン提案の著作権は、南あわじ市商工会が有するものとする。

### 2. 審査

提案競技の審査は、審査会において行う。

審査方法 提案競技提出物に基づき厳正なる審査。

審査結果 審査会において最優秀提案を選定し、その結果を直接ご連絡を差し上げます。

審査結果に関する質疑は一切応じない。

### 3. 採択された場合の報奨について

30,000 円相当

### 4. 申し込み・お問い合わせ

南あわじ商工会 濟藤、富岡

〒656-0474 兵庫県南あわじ市市市 299-2

TEL 0799 42 4721、FAX 0799 42 4689

Email [info@m-awaji.jp](mailto:info@m-awaji.jp)

URL <http://www.m-awaji.jp/>

# 平成 19 年度淡路いぶし瓦を用いた地域活性化事業 事業概要

.事業主体 南あわじ市商工会

.事業内容

1. 名称 淡路いぶし瓦を用いた地域活性化事業

2. 事業目的

南あわじ市では、一部では例外があるものの、地場産業であるいぶし瓦や観光業界の地盤沈下が著しく、このままでは先細りによる崩壊の危機にある。この状況を打破する為にも以下の事業が必要となります。

地場産業である淡路いぶし瓦が持つ特性（自然素材 100%、癒し、遠赤効果など）を、いぶし瓦を活用することにより地元観光業界に取り込み、訪れる観光客等に発信することによって他の観光地との差別化を図る。又、瓦業界においても従来の屋根施工業者や工務店などへの PR から直接消費者への情報発信が可能となり、現在の屋根材の流通における買手市場の傾向に一石を投じることを目的とする。

3. 事業効果

地元住民・瓦業界・観光業界・商工会・市・県等の関係者による、淡路いぶし瓦を用いたまちづくり等についての研究集会(ワークショップ)の実施により、住民参加型の地域活性化や地場産業振興を図ることが出来ると同時に、住民等のまちづくりへの意識を高める効果がある。

また、淡路いぶし瓦の特性を生かしたオブジェ等の設置による情緒有る町並み創出効果や、淡路いぶし瓦の持つ癒しの効果による観光客への訴求効果を通じ、ここ淡路島でしか見られないものとして観光業界にとっては新たな観光資源の創出が出来る。一方で地元の伝統産業であるいぶし瓦に直接消費者へ訴えかける機会ができ、新たな販路開拓などの事業展開の可能性ができる。これらにより、活性化を促し、後継者を確保し、地域での雇用を創出する効果が期待できる。

4. 事業内容

- ・南あわじ市内にある阿那賀をモデル地区とし、地元住民参加型のまちづくりや地域活性化の意識を高め、行動する為に研究集会(ワークショップ)を実施する。
- ・淡路いぶし瓦を活用したオブジェにより情緒有る街並みを創出し、観光資源化する。

5. 実施体制

本事業の実施に当たっては、南あわじ市商工会を実施主体とし、事業を計画的かつ効率的な実施を図るため、本会に学識経験者、事業の進捗状況に応じて対応する淡路地域の各種団体、商工会及び商工会連合会役職員らで構成する「地域活性化委員会」を設置することとし、委員会において実施日程、実施事業内容等の細目について実施計画を定め、当該事業実施計画に従って事業を実施します。

.事業計画（スケジュール）

平成 19 年 10 月	オブジェデザイン案募集 オブジェ用地決定
平成 19 年 11 月	デザイン案審査会 研究集会(ワークショップ)
平成 19 年 12 月	オブジェ施工

用地のイメージ（用地についてはまだ決定していません。）



用地のイメージ（用地についてはまだ決定していません。）



用地のイメージ（用地についてはまだ決定していません。）

